

2023年11月14日

各位

会社名 株式会社フジタコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 遠藤 大輔
(コード番号 3370)
問合せ先 専務取締役 清水 清作
(TEL 0144-34-1111)

2024年3月期第2四半期連結業績予想と実数値の差異に関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期第2四半期連結予想と、本日公表の実数値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値の差異について

1. 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四 半期純利益	1株当たり 四半期純利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,081	11	3	18	0.19
実績値(B)	2,188	25	31	11	3.15
増減額(B-A)	107	37	34	30	
増減率(%)	4.9	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半 期実績(2023年3月期 第2四半期)	-	-	-	-	-

当社は、2023年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第2四半期の数値に関しては記載しておりません。

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、社会経済活動の正常化や個人消費の持ち直しなどを背景に、当社グループの主力業態を中心に回復基調で推移いたしました。一方、コスト面におきましては、原材料価格の高騰による収益圧迫の懸念もありましたが、徹底したコストコントロールにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回予想を上回る結果となりました。

第3四半期以降に関しましては、飲食・小売部門は引き続き来店客数獲得を中心とした施策を推進し、売上高は前回発表予想通りに推移するものと見込んでおります。しかしながら、コスト面におきましては、円安を背景としたエネルギーコストの上昇や、労働力不足による人件費等の増加など、事業環境は先行き不透明状況が継続するものと想定されるため、2024年3月期連結業績予想につきましては、2023年5月15日「2023年3月期決算短信(日本基準)(連結)」にて公表しております予想数値を据え置くことといたします。

上記記載の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上